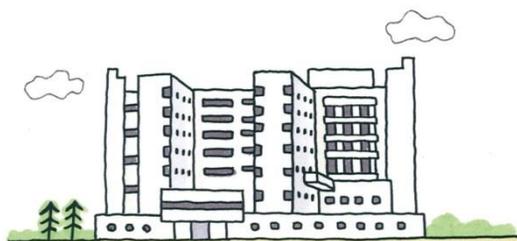


患者さんパンフレット

四国がんセンター
呼吸器内科



私たち医療スタッフは

1. 入院や抗がん剤治療に対する不安を軽減し、
最良の状態での治療が受けられるようお手伝いいたします
2. 抗がん剤治療の副作用や苦痛を軽減し、
安全に治療を続けることができるようお手伝いいたします



シスプラチン+ビンレルビン療法 を受けられる方へ

さま

主治医/担当医 []

受け持ち看護師 []



Shikoku
Cancer Center

2010年2月25日 作成
2024年2月21日 改定

ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるよう患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

入院はおよそ3週間の予定です

抗がん剤治療の副作用は、個人差があり、体の状態によっては、予定どおりにすまないこともあります。その都度対応していきますのでご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活が不安なく送られるようにサポートさせていただきます





今日の目標

- 入院生活や治療について医療スタッフの説明が理解できる
- わからないことは質問することができる

| <時間> | <予定> |
|-------|---|
| 11:00 | 入院 【入院後に以下のことを予定しています】 <ul style="list-style-type: none"> • 看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください） • 検温、血圧測定、身体測定 |
| 12:00 | 昼食 <ul style="list-style-type: none"> • 連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り • 血液検査 • 医師、薬剤師より抗がん剤治療の説明があります • 説明を聞いた後、納得し同意できれば同意書にサインをし、看護師にお渡しください • わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどがありましたら、遠慮なくお尋ねください |
| 18:00 | 夕食 <p><お薬></p> <ul style="list-style-type: none"> • 他の病院で処方されたお薬は、一度お預かりします 医師の指示を確認後、続けるか、中止するかをお伝えします <p><食事></p> <ul style="list-style-type: none"> • 食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください • 特に制限はありません |
| 21:30 | 消灯 <ul style="list-style-type: none"> • 基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食となる場合があります |

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 入院生活や抗がん剤治療に対する不安がないよう支援します





今日の目標

- 抗がん剤治療について医療スタッフの説明が理解できる
- 不安な気持ちを医療スタッフに伝えることができる

<時間>

<予定>

6:00

起床

7:30

朝食
血液検査

シャワー浴を
しましょう



10:00

検温、血圧測定

12:00

昼食

<治療の準備>

- 看護師より、治療スケジュール、入院中の生活について説明をします
- 薬剤師より薬の説明をします

18:00

夕食

21:30

消灯

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 抗がん剤治療に対する不安がないよう支援します



入院中の生活の注意点

- ◆感染予防のためにマスクを着用し、手洗いうがいをしましょう
- ◆口の中は清潔にするよう心がけましょう
- ◆排泄を促すために水分をしっかりとりましょう
- ◆膀胱に尿が溜まると薬が腎臓や膀胱を刺激し、炎症を起こしますので尿意を感じたら我慢をしないでトイレに行きましょう
- ◆排尿時に痛みや残尿感がある場合には看護師にお伝えください
- ◆抗がん剤治療開始から治療後2日間ほどは、尿や便などから抗がん剤が排出されます尿や便に直接触れても健康に直接被害を及ぼすことはありませんが、できるだけ周りに広げないように以下のことに注意しましょう

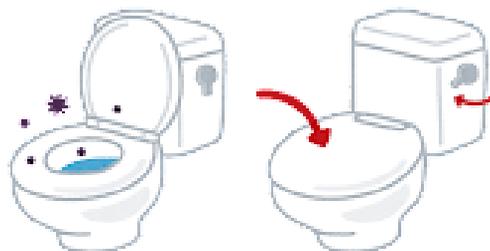


- **男性の方は飛び散り防止のため、座って排尿しましょう**



- 尿がこぼれた場合は、トイレットペーパーできれいに拭き取りトイレに流しましょう
2度拭き取ると良いでしょう

- トイレの後、フタがある場合は、**フタをして水を2回流しましょう**



- トイレのあとは石けんなどでよく手を洗いましょう
- 尿や吐いてしまったもので衣類が汚れた場合は、ほかの洗濯物と分けて洗濯しましょう



●便秘

1. 定義

便秘とは、便が硬くなったり乾燥したりして出しにくく、便通が十分でない状態をいいます。

2. 種類

腸の働きを調節している自律神経への作用によるもの、直接的な障害やある種の制吐剤などによって腸の運動が弱くなることによるもの、などがあります。おなかに病気がある場合には、腸がせまくなることで便秘になることもあります。

3. 症状

いつもより便が出にくくなります。

4. 治療方法

腸の運動を強める下剤や便の水分を保ち、便が硬くなるのを防ぐ下剤を使います。内服薬の他にも、坐薬や浣腸を使うこともあります。浣腸は、直腸粘膜を傷つけることもあり、長期に使用すると効果が減弱してしまうため、担当医や看護師に相談しましょう。

5. 予防方法（日常生活の注意点）

水分がとれるようであれば、1日1.5～2Lの水分をとるようにしましょう。

繊維の多い食べ物をとると良いでしょう。

十分に時間をかけて、おなかを時計方向にさすりながら排便したり、排便を我慢せず毎日同じくらいの時間にトイレに座ってみると効果的です。



また、無理のない程度の軽い運動を心がけると良いでしょう。便を軟らかくする薬と腸を動かす薬をうまく使用して、排便コントロールをしましょう。

症状が改善せず、おなかがはったり、痛みや吐き気・嘔吐を伴う場合は、担当医や看護師に相談しましょう。



排便について（図 便の性状を参照してください）

- 1回の排便量が減少し3日以上排便がない、排泄時につらい、便は毎日出ているが、すっきり感がなく腹部膨満感などの症状があるときは、排便の回数や性状によって緩下剤を使用します。

※排便の状況や下痢・便秘の辛さは患者さんによって違います。

※排便のコントロールが難しい患者さんは看護師と解決方法を相談しましょう。



| | | | |
|---|---------|---|---|
| 1 | コロコロ便 |  | 硬くてコロコロの 兔糞状の便 |
| 2 | 硬い便 |  | ソーセージ状であるが 硬い便 |
| 3 | やや硬い便 |  | 表面にひび割れのある ソーセージ状の便 |
| 4 | 普通便 |  | 表面がなめらかで柔らかい ソーセージ状、あるいは 蛇のようなどぐろを巻く便 |
| 5 | やや軟らかい便 |  | はっきりとしたしわのある 柔らかい半分固形の便 |
| 6 | 泥状便 |  | 境界がほぐれて、ふにゃふにゃの不定形の 小片便 泥状の便 |
| 7 | 水様便 |  | 水様で、固形物を含まない 液体状の便 |

図 便の性状



今日の目標

- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 副作用症状出現時は医療スタッフに知らせることができる
- 2日に1回排便がある
- 転倒しない

| <時間> | <予定> | |
|-------|---------------|---|
| 6:00 | 起床 検温、血圧測定 | <ul style="list-style-type: none"> • 点滴時間は約5～6時間です 開始時刻については、看護師からお知らせします |
| 7:30 | 朝食 | <p><治療時の注意点></p> <ul style="list-style-type: none"> • 治療前に、トイレは済ませておきましょう |
| 10:00 | 検温、血圧測定 | <ul style="list-style-type: none"> • 点滴中は管を無理に引っ張ったり、針の入っているところを押さえたりしないようにしましょう |
| 12:00 | 昼食 | <ul style="list-style-type: none"> • 点滴の漏れを防ぐために移動や着替えなど、身の回りのことを看護師はお手伝いをします |
| 14:00 | 検温、血圧測定 | <ul style="list-style-type: none"> • 針の入っているところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときは、すぐにお知らせください • 抗がん剤投与中は頻回に伺い、検温、血圧測定を行います |
| 18:00 | 夕食 | <ul style="list-style-type: none"> • 息が苦しい、胸がドキドキする、吐き気があるなど、気分が悪いときは我慢をしないでお知らせください |
| 19:00 | 検温、血圧測定 | |
| 21:30 | 消灯 | <ul style="list-style-type: none"> • 点滴中はトイレなどの歩行時に注意しましょう 点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります 点滴台は支えにしないようにしましょう |

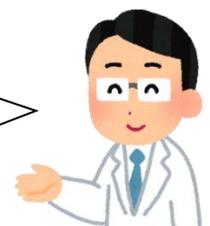
フタをして
水を2回流しましょう



体調に合わせて体を拭いたり
シャワー浴をしましょう
看護師がお手伝いしますので、
いつでも声をかけてください

医療スタッフの目標

- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます



点滴スケジュール

(:) アプレピタントカプセル（吐き気止めのお薬）を
内服します
(:)～ 点滴を開始します

| | |
|-----|--|
| 1本目 | 吐き気止めとアレルギー予防のお薬が入った点滴を15分間で行います |
| 2本目 | 尿をたくさん出し、腎機能の悪化を防ぐために、500mlの点滴を約1時間で行います |
| 3本目 | 生理食塩水50ml+ビノレルビン（抗がん剤）が入った点滴を約5分間で行います |
| 4本目 | 静脈炎の予防のために、生理食塩水250mlの点滴を約30分間で行います |
| 5本目 | 尿をたくさん出し、腎機能の悪化を防ぐために、300mlの点滴を約45分間で行います |
| 6本目 | 生理食塩水500ml+シスプラチン（抗がん剤）が入った点滴を約2時間で行います |
| 7本目 | 尿をたくさん出し、腎機能の悪化を防ぐために、500mlの点滴を約1時間で行います 終了後、針を抜きます |

※抗がん剤前後の点滴は変更することがあります

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう



今日の目標

- ・ 治療内容について理解できる
- ・ 副作用症状出現時は医療スタッフに知らせることができる
- ・ 2日に1回排便がある

<時間>

<予定>

6:00

起床

7:30

朝食

吐き気止めのお薬（アプレピタントカプセル、デカドロン錠）の内服があります

10:00

検温、血圧測定

体調に合わせて
体を拭いたり
シャワー浴を
しましょう



12:00

昼食

18:00

夕食



フタをして水を
2回流しましょう

21:30

消灯



- ・ 針の入っていたところが赤くなった、腫れている、痛みがある、硬くなったときはすぐにお知らせください
- ・ 口内炎の予防をするため、お口の中をきれいにしましょう
- ・ 吐き気や口内炎などで食事が食べにくいときは、食事内容を変更したり、吐き気止めを使うことができます
栄養士とも相談できますので、遠慮をしないで看護師にお伝えください
- ・ 腎機能悪化を予防するため、水分摂取を心がけましょう

医療スタッフの目標

- ・ 副作用症状の早期発見に努めます
- ・ 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます



抗がん剤投与4～6日目 月 日～ 月 日



今日の目標

- 副作用症状出現時は医療スタッフに知らせることができる
- 副作用出現時の対処方法がわかる
- 2日に1回排便がある

<時間>

<予定>

6:00 起床

7:30 朝食

吐き気止めのお薬（デカドロン錠）の内服があります
（抗がん剤投与4日目のみ）

10:00 検温、血圧測定

12:00 昼食

体調に合わせて
体を拭いたり
シャワー浴を
しましょう



18:00 夕食

21:30 消灯

- 針の入っていたところが赤くなった、腫れている、痛みがある、硬くなったときはすぐにお知らせください
- 口内炎の予防をするため、お口の中をきれいにしましょう
- 吐き気や口内炎などで食事が食べにくいときは、食事内容を変更したり、吐き気止めを使うことができます
栄養士とも相談できますので、遠慮をしないで看護師にお伝えください
- 腎機能悪化を予防するため、水分摂取を心がけましょう



医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 静脈炎の早期発見に努めます





今日の目標

- ・副作用への対処方法がわかる
- ・抗がん剤治療について医療スタッフの説明が理解できる
- ・不安な気持ちを医療スタッフに伝えることができる
- ・2日に1回排便がある

<時間>

<予定>

6:00

起床

7:30

朝食



10:00

検温、血圧測定

<治療の準備>

- ・血液検査とレントゲン検査があります

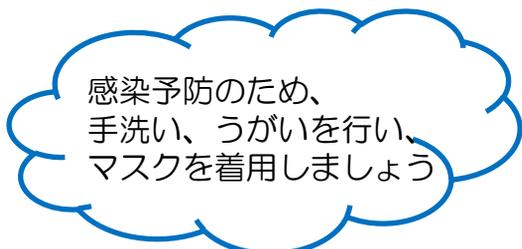
12:00

昼食

- ・看護師より、治療スケジュール、入院中の生活について説明をします

18:00

夕食



21:30

消灯

- ・針の入っていたところが赤くなった、腫れている、痛みがある、硬くなったときはすぐにお知らせください
- ・口内炎の予防をするため、お口の中をきれいにしましょう
- ・吐き気や口内炎などで食事が食べにくいときは、食事内容を変更したり、吐き気止めを使うことができます
栄養士とも相談できますので、遠慮をしないで看護師にお伝えください
- ・腎機能悪化を予防するため、水分摂取を心がけましょう



医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます
- ・抗がん剤治療に対する不安がないよう支援します





今日の目標

- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 副作用症状出現時は医療スタッフに知らせることができる
- 2日に1回排便がある
- 転倒しない

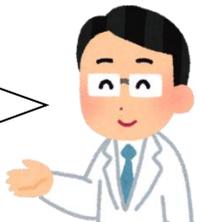
| <時間> | <予定> | |
|-------|------------------|--|
| 6:00 | 起床 検温 血圧測定 | <ul style="list-style-type: none"> • 点滴時間は約1時間です • 開始時刻については、看護師からお知らせします |
| 7:30 | 朝食 | <p><治療時の注意点></p> <ul style="list-style-type: none"> • 治療前に、トイレは済ませておきましょう |
| 10:00 | 検温 血圧測定 | <ul style="list-style-type: none"> • 点滴中は管を無理に引っ張ったり、針の入っているところを押さえたりしないようにしましょう |
| 12:00 | 昼食 | <ul style="list-style-type: none"> • 点滴の漏れを防ぐために移動や着替えなど、身の周りのことを看護師はお手伝いをします |
| 14:00 | 検温 血圧測定 | <ul style="list-style-type: none"> • 点滴中は、頻回に伺い、検温、血圧測定を行います • 息が苦しい、胸がドキドキする、吐き気があるなど、気分が悪いときは我慢をしないでお知らせください • 針の入っているところが赤くなった、腫れている、痛みがある、硬くなったときはすぐにお知らせください |
| 18:00 | 夕食 | <ul style="list-style-type: none"> • 口内炎の予防をするため、お口の中をきれいにしましょう |
| 19:00 | 検温 血圧測定 | <ul style="list-style-type: none"> • 吐き気や口内炎などで食事が食べにくいときは、食事内容を変更したり、吐き気止めを使うことができます • 栄養士とも相談できますので、遠慮をしないで看護師にお伝えください |
| 21:30 | 消灯 | <ul style="list-style-type: none"> • 腎機能悪化予防のため、水分摂取を心がけましょう |

フタをして水を2回流しましょう



医療スタッフの目標

- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます



点滴スケジュール

(:) ~ 点滴を開始します

| | |
|-----|--|
| 1本目 | 生理食塩水50mlの点滴を約5分間で行います |
| 2本目 | 生理食塩水50ml+ビノレルビン（抗がん剤）が入った点滴を約5分間で行います |
| 3本目 | 静脈炎の予防のために、生理食塩水250mlの点滴を約30分間で行います |

※抗がん剤前後の点滴は変更することがあります



体調に合わせて体を拭いたりシャワー浴をしましょう
看護師がお手伝いしますので、いつでも声をかけて
ください

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう



今日の目標

- 副作用症状への対処ができる
- 退院後の日常生活について理解できる
- 退院後の日常生活で不安なことを医療スタッフに伝えることができる
- 2日に1回排便がある

<時間>

<予定>

| | | |
|-------|------------|---|
| 6:00 | 起床 | <退院に向けての準備> ・抗がん剤投与10～12日目に、一度血液検査を行います |
| 7:30 | 朝食 | |
| 10:00 | 検温 血圧測定 | ・抗がん剤投与14～15日目に、一度血液検査とレントゲン検査を行います ・次回受診日、退院後の日常生活について看護師より説明があります |
| 12:00 | 昼食 |  感染予防のため、手洗い、うがいを行い、マスクを着用しましょう |
| 18:00 | 夕食 |  体調に合わせて体を拭いたりシャワー浴をしましょう |
| 21:30 | 消灯 |  抗がん剤投与後、2日間はフタをして水を2回流しましょう |



- 針の入っていたところが赤くなった、腫れている、痛みがある、硬くなったときはすぐにお知らせください
- 口内炎の予防をするため、お口の中をきれいにしましょう
- 吐き気や口内炎などで食事が食べにくいときは、食事内容を変更したり、吐き気止めを使うことができます
栄養士とも相談できますので、遠慮をしないで看護師にお伝えください
- 腎機能悪化を予防するため、水分摂取を心がけましょう

医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます
- 退院の準備をすすめられるよう支援します





今日の目標

- 副作用症状への対処ができる
- 退院後の日常生活について理解できる
- 退院後の日常生活で不安なことを医療スタッフに伝えることができる
- 2日に1回排便がある

<時間>

<予定>

6:00

起床

<退院に向けての準備>

7:30

朝食

- 次回受診日、退院後の日常生活について説明をします
「退院後の日常生活について」のページ参照

10:00

検温
血圧測定

- 午後から、通院治療室の見学をします
時間は決定次第、看護師からお知らせします
() 時から行きます

12:00

昼食



体調に合わせて
体を拭いたり
シャワー浴を
しましょう

18:00

夕食



21:30

消灯

感染予防のため、
手洗い、うがいを行い、
マスクを着用しましょう



- 針の入っていたところが赤くなった、腫れている、
痛みがある、硬くなったときはすぐにお知らせください
- 口内炎の予防をするため、お口の中をきれいにしましょう
- 吐き気や口内炎などで食事が食べにくいときは、食事内容
を変更したり、吐き気止めを使うことができます
栄養士とも相談できますので、遠慮をしないで看護師に
お伝えください
- 腎機能悪化を予防するため、水分摂取を心がけましょう

医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 退院の準備をすすめられるよう支援します



退院日 月 日



今日の目標

- ・退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

7:30

朝食

「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けします
2階窓口で支払終了後、病棟まで連絡票をお持ちください

お預かりしている薬、退院の薬がある場合はお渡しします
次回外来予約票をお渡しします

10:00

退院
退院前に忘れ物がないようご確認ください

次回外来受診は

月 日 () 時の予定です

* 外来受診時に検査のある場合は、事前に医師から説明があります

※ 通院治療室に行かれるときにはこのパンフレットをお持ちください

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・退院後の日常生活に不安がないよう支援します



退院後の日常生活について

●食事

無理せず食べられるものを探し、食事はゆっくりと時間をかけたり、少量ずつ可能な範囲で食べるとよいでしょう

食事ごとに吐いてしまうようなときは、1～2食、食事は控えてみましょう

この場合も水分はできるだけとりましょう



●発熱

37.5℃以上の熱がでた場合に内服する抗生剤や解熱剤が処方される場合があります
医師の指示どおりに服用しましょう

熱が続く場合は、がん相談支援センターにご相談ください

●活動

無理をしない程度で体を動かしましょう

活動の内容や範囲に制限はありません

採血結果で白血球が下がっているときは、なるべく人混みは避けましょう

外出時は、**マスクを着用**し、帰宅時に手洗い・うがいをしましょう

活動について迷うことがあれば、医療スタッフにご相談ください



●排泄

毎日排便があるようにしましょう

軽い運動や水分を多めにとりましょう

下痢のときは白湯やスポーツ飲料などをとりましょう

水分を控えると脱水症状を起こすことがあります

便秘気味の方は、緩下剤（便をゆるくする薬・押し出す薬）で排便コントロールをしましょう

退院までに医療スタッフと対処方法について相談しておきましょう

*退院後、便秘が続き排ガスがない、下痢や吐き気、腹痛がある場合はかかりつけ医、または四国がんセンターの医師の診察を受けるようにしましょう

●入浴

特に制限はありません



●仕事

これから先、安心して働き続けるためには、体の状態に合わせた休み方や働き方が必要になることもあります

病院では、患者さんの「働きたい！」をサポートしています

私たちと一緒に考えていきましょう



【相談窓口】

がん相談支援センター相談員

・医療ソーシャルワーカー、看護師

<出張相談>

・ハローワーク松山就職支援ナビゲーター

・両立支援促進員（社会保険労務士）

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください

●お薬

薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください

他の病院のお薬を服用する場合は、医師に相談してください



●その他

点滴をしたところと、その周りは、皮膚や血管の炎症が悪化するのを防ぐため、清潔に保ちましょう

泡で優しく洗浄する、タオルで押さえ拭きをするなど、強い刺激を避けましょう

水泡ができたときは、つぶさないように注意しましょう

皮膚が赤くなった、腫れた、痛みが強くなったなどの症状が現れたときは、処置が必要となる場合があります

早めにがん相談支援センターへご連絡ください

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

外来で抗がん剤点滴治療を受けられる方へ

通院治療の流れ

①受付



Bブロック

②採血
中央処置室



☆採血時のお願い☆
採血場所や注意することは退院前に確認しておきましょう
点滴予定の腕とは反対の腕で採血してもらってください



採血結果が出るまで、
約30分～1時間かかります

③診察受付
A、B、C、S各ブロック

Aブロック

Bブロック

Cブロック

Sブロック

呼吸器科
消化器科
緩和ケア
精神腫瘍科
感染症腫瘍内科
骨軟部腫瘍・整形外科

泌尿器科
血液腫瘍内科
原発不明がん診療科

④診察

乳腺科
婦人科
形成・再建皮膚腫瘍外科
頭頸科・甲状腺腫瘍科

消化器科
糖尿内科
循環器科
皮膚科
眼科
リンパ浮腫

治療決定

Sブロック

⑤治療
通院治療室

外来では、
看護師が点滴の針を刺し、
確認後に抗がん剤を開始します

治療終了

検査の説明を受ける方は、予約センターへ

他の診療科で診察のある方は、各診療科受付へ

予約センターは
B受付の隣です



⑥会計

処方箋もすべてファイルに入れたまま総合受付 **6番窓口** に提出してください。

***お薬の処方がある方へ**

会計終了後に処方箋をお渡しします。4日以内にお薬をお受け取りください。

通院治療室での過ごし方

- 外来で初めて治療を受ける方は、説明と確認を行いますので、少しお時間を頂きます。
- ベッドか椅子を選択できますが、混雑時にはご希望に添えないこともあります。
- テレビは無料でご利用できます。また、ラジオや音楽プレイヤー等の持ち込みも可能です。但し、ご利用される場合にはイヤホンをご用意ください。
- 携帯電話はマナーモードに設定し、通話をご遠慮ください。
- 通院治療室内での飲食は可能ですが、においの強いものはご遠慮ください。飲食される方は、各自でご準備ください。
- トイレは通院治療室内のトイレをご使用ください。男女兼用ですが、3か所あります。
- ご家族の待機場所は、「暖だん」や「図書コーナー」などがありますのでご利用ください。必要時には、付き添うこともできます。
- 副作用や日常生活で困っていることなど、相談したいことがあれば、いつでもスタッフに声をおかけください。





- 解熱剤を服用しても37.5℃以上の熱が続くとき
- 食事や水分がとれないほど体調が悪くなったとき
- 点滴をしたところの周りが赤くなった、腫れた、痛くなったとき

上記のような症状がある場合やその他心配なことがある場合は、
がん相談支援センターにご連絡ください

◆ 四国がんセンターの連絡先 ◆

【平日】 8:30~17:15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

* 外来受診日や検査予約日の変更については、
予約センターにご連絡ください

【平日】 8:30~17:15
(直通番号) 089-999-1112



シスプラチン+ビンレルビン療法を受けられる方へ